

YK-Y000 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・横浜高速鉄道Y000系
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(チラツキ対策を施しています。)

！ 注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ライトユニット : 1個/セット
- ・チラツキ防止ユニット : 1個/箱
- ・チラツキ防止ユニット用スペーサー(黒プラ板) : 1枚/箱

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかりと貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスドライバー
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ポンチ(ブッシュピンなどでも可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒または銀)

●取り付け手順

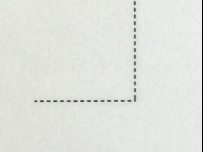
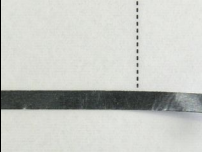
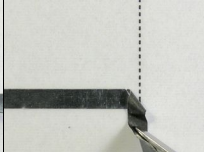
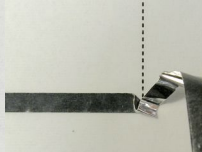

1. 分解する					
1-1 床板を外す  車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	1-2 屋根を外す  屋根を、内側からツメを楊枝などで押して外します。	1-3 乗務員室仕切りを外す  乗務員室仕切りを、天井上のツメを楊枝などで押して外します。	1-4 側窓を外す  側窓を、前面透明パーツとの噛み合部をコジって外します。	1-5 ライトレンズを外す  ライトレンズを、ボディとの隙間を精密ドライバーなどでコジって外します。	
2. 車体を加工する					
※前面窓は外さない  前面窓は外す必要はありません。	2-1 ライトレンズを加工する  ライトレンズ裏面、両サイドの突起を削り取ります。	2-2 側窓を加工する  側窓前縁の、側窓下端より下側、乗務員扉前の余白の1/2を、四角く切り取ります。	2-3 スカートを加工する  スカートの両サイドのツメをカットします。取付けは、ダミーカバー部分のツメで行います。		
3. 床板を加工する		4. ライトユニットを取り付ける		5. 配線する	
 (T車の場合)ライトユニットと干渉するので、床板端部の両側の突起を削り取ります。特に加工の必要はありません。	 ライトユニットに、両面テープを使って、ライトレンズを貼り付けます。発光部がレンズ部の穴にはまるようにします。	 ライトユニットをはめ、両面テープで固定します。	 5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリップに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。両側の側窓の両端、計4箇所の凸部に貼ります。		
5-2 側窓下にアルミテープを貼る  2.5mm×108mmのアルミテープを2本用意します。側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。両側の側窓に貼ります。		5-3 側窓をはめる  側窓をはめ、両面テープで固定します。	5-4 ライトユニットへ配線する  1.5mm×18mmのアルミテープで、側窓下のアルミテープからライトユニットの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。  ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、4mm×4mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。		

	6 チラツキ防止ユニットを取り付け、配線する(M車の場合)			
5-5 側窓下の重ね貼り	6-1 チラツキ防止ユニットを取り付ける	6-2 チラツキ防止ユニットへ配線する		
				
側窓下の通電の確実を期して、2.5mm×9mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	チラツキ防止ユニット用スペーサーを、連結面寄りの天井に両面テープで取り付けます。	チラツキ防止ユニットを、両面テープで取り付けます。	1.5mm×約35mmのアルミテープを使って、チラツキ防止ユニットの給電パッドから側窓下まで、Z字形に配線します。屈曲部は、欄外の記事を参考に折り曲げます。余ったテープは切り捨てます。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	チラツキ防止ユニットの給電パッドの通電の確実を期して、2mm×10mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

(6-2つづき)

側窓下の通電の確実を期して、2.5mm×14mmのアルミテープを重ね貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●テープを折り曲げながら貼る

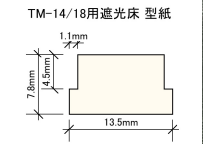

				
L字形にテープを貼ります。	一边を貼ります。	曲がり角で、一旦反対側に曲げます。	向かいたい方向に、再度曲げます。	よく押さえて完成です。

●室内灯を取り付ける場合

1. ツメをカットする

屋根の固定用ツメをカットします。

●遮光床を取り付ける(M車に室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1. 遮光床を取り付ける
 <p>TM-14/18用遮光床 型紙 1.1mm オブ 7.6mm 4.5mm 13.5mm</p>	
0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)	動力ユニットのフレームの開口部に遮光床をはめ、両面テープで固定します。 前後両端に取り付けます。

